

まほろん令和6年度企画展

U-15の考古学

# ふくしま 平安時代の始まり

## 解説資料

大宝元(701)年には『大宝律令』という法律が制定され、天皇を頂点とした律令国家が成立します。地方の行政組織は国・郡・郷(里)に区分されます。

平安時代のはじめごろ、現在の福島県から岩手県にかけての東北地方の太平洋側は「陸奥国」と呼ばれています。陸奥国の拠点として、現在の宮城県多賀城市に国府多賀城が造営されます。その下には、地域のまとまりごとに複数の郡に分かれ、中心施設として役所や寺院が設置されています。また、都への主要道路や伝達手段としての馬や食料を提供する駅が整備されました。陸奥国と下野国(現在の栃木県あたり)との国境に「白河関」が置かれ、人や物の往来を管理していました。

「便りあらばいかで都へ告げやらむ  
今日白河の関は越えぬと」  
平兼盛(「拾遺集」)

(便りを送ることができたなら、どう都に告げようか、今日私が白河関を越えるところだと!)

平安時代にまとめられた歌集には、白河関などの陸奥国の地名が詠まれた和歌が収められており、遠くはなれた都の人々にとって憧れの地だったことがうかがえます。



【古代陸奥国と本展示で紹介する主な郡と施設等の位置図】

# 地方のくらし 白河郡

福島県の県南域は「<sup>しらかわのこおり</sup>白河郡」と呼ばれ、<sup>むつのくに</sup>陸奥国の中で一番大きな郡でした。白河<sup>かんが</sup>官衙遺跡群からは、複数の建物跡とともに瓦や「白」と書かれた器などが見つかり、白河郡の役所跡や寺院跡と考えられています。特に礎石のある<sup>そせき</sup>総柱の建物跡が規則的に並んでいる一帯は、税として集めた米を保管した米倉が集まった<sup>そうぼしら</sup>正倉院とみられます。

律令制では租・調・庸などの税があり、租は収穫した米の約3%を納めるもので、地方財政にあてられました。<sup>すいとうこうさく</sup>水稲耕作に適した低地の周囲にはいくつもの集落が営まれており、農耕具として使用されたとみられる<sup>くわ</sup>鋤あるいは<sup>すきざき</sup>鋤先の刃なども見つかりています。

関和久官衙遺跡→

かりやばい跡を  
借宿廃寺跡

白河官衙遺跡群（白河市・泉崎村）景観（写真：白河市提供）



鋤と鋤（復元）



県指定重要文化財『白』と書かれた土師器（泉崎村関和久官衙遺跡）



泉崎村関和久官衙遺跡建物跡

## 川べりのまつり

<sup>ぼくしよどき</sup>墨書土器とは、文字や記号、絵などが墨で描かれた器で、それらには縁起の良い文字など、願いや祈りが込められているものがあります。<sup>かせんあと</sup>河川跡などからまよって見つかるものは‘おまつり’で使われたものでしょうか？



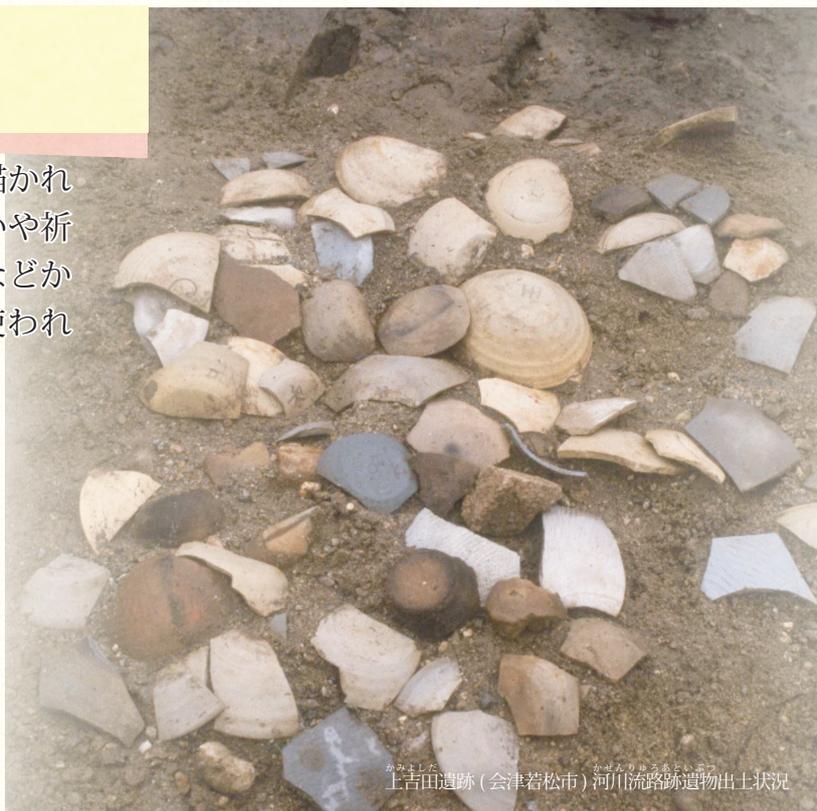
じんめんぼくしよどき  
人面墨書土器  
（会津若松市鶴沼B遺跡）



じんめんけん  
円面碗  
（会津若松市西坂才遺跡）



祭祀具と  
考えられる木製品  
（会津若松市西木流C遺跡）



かみよした  
上吉田遺跡（会津若松市）  
かせんりゅう跡を  
河川流跡遺物出土状況

# 海沿いの郡 標葉・行方・宇多

しねはのこおり なめかたのこおり うだのこおり  
標葉郡、行方郡、宇多郡は福島県北部の太平洋に面した3つの郡です。標葉郡の役所などで使われたとみられる軒丸瓦の様子は、白河郡の蓮華文の瓦とよく似ています。

行方郡、宇多郡では、海岸から採集した砂鉄を原料として鉄をつくるための製錬炉などの大規模な製鉄関連遺跡群が見つっています。そこでは日常の道具や武具などの他に、仏教の儀式に使われていたとみられる梵鐘や獣脚の付いた羽釜などの仏具が作られていたことがわかっています。

陸奥国は「蝦夷」と呼ばれる律令国家に従わない勢力と接しており、この地域には行方軍団が組織され、国府多賀城の警備にあたっています。緊張関係が続いた対蝦夷政策としても鉄の需要が高まりました。



金沢地区製鉄遺跡群（南相馬市）全景



新地町向田 A 遺跡  
出土の鋳型から復元した  
鉄製梵鐘



新地町向田 A 遺跡  
出土の鋳型から  
復元した鉄製獣脚  
付容器

『厨』と書かれた土師器  
南相馬市大迫遺跡



獣脚鋳型（相馬市山田 A 遺跡）

## 山あいの集落

平安時代の集落には、新たに山間地に営まれた小規模なものがみられるようになります。

おそらくは山林の資源を活用した木材の伐採や加工、動植物の狩猟や採集などを目的とした居住と考えられます。



狹平遺跡（相馬市）遠景



石製帯かざり  
（相馬市狹平遺跡）



鉄製矢じり  
（相馬市狹平遺跡）

# 関連年表

日本のできごと

ふくしま周辺のできごと

奈良時代

大宝律令制定 **701**

平城京への遷都 **710**

**718**

陸奥国より石背国・石城国が分かれる  
(数年後、石背国・石城国が廃止、陸奥国に入る)

**724**

陸奥国府多賀城が造られる

**728**

白河軍団が組織される

墾田永年私財法 **743**

**774**

蝦夷との戦いがはじまる〈38年戦争〉

行方郡衙が火災にあう

伊治皆麻呂の乱

**780**

長岡京への遷都 **784**

**794**

平安京への遷都

胆沢城の築城 **802**

**811**

蝦夷との戦いがあわる〈38年戦争〉

県内の軍団(白河・安積・行方)が解体される

**815**

白河軍団、安積軍団、行方軍団、磐城軍団が再組織される

**869**

貞観地震が発生

遣唐使の廃止 **894**

平将門の乱 **935**

藤原純友の乱 **939**

前九年の役 **1051**

後三年の役 **1083**

院政の開始 **1086**

平氏が滅びる **1185**

鎌倉幕府による守護・地頭の設置

源頼朝が征夷大將軍となる **1192**

平安時代

鎌倉時代

摂関政治

国風文化が栄える



寝殿造の様式



浄土信仰がさかんに



奥州藤原氏との合戦



本展の開催にあたり、次の機関からご協力を頂きました。

厚く御礼申し上げます。(順不同)

南相馬市教育委員会・願成寺・国見町・泉崎村教育委員会・  
白河市・岩手県奥州市歴史公園えさし藤原の郷

まほろん令和6年度企画展

U-15の考古学  
ふくしまの  
平安時代の始まり

発行日 令和6年6月15日  
開催期間 令和6年6月15日(土)～9月29日(日)  
編集・発行 (公財)福島県文化振興財団  
〒961-0835  
福島県白河市白坂一里段8 6  
TEL: 0248-21-0700 FAX: 0248-21-1075